

新病院の目指すべき姿

東海市・知多市医療連携等あり方検討会から提言された、両市民病院が連携して果たすべき役割と目指すべき病院像

知多半島医療圏における医療提供体制の枠組みの中で、必要な医師を確保し、同医療圏北西部に求められる二次救急医療や質の高い医療サービスを住民に安定的に提供し、開業医が安心して患者を紹介できる地域完結型の中核病院

救急医療体制

365日、24時間いつでも救急患者を受け入れられる病院

- ・ 地域医療に必要な診療科を備えた病院
- ・ 常時内科系、外科系の医師を合わせた複数の医師による当直体制
- ・ 脳卒中や心筋梗塞など緊急性の高い疾病に対応できる機能を備えた病院

医師の確保

大学病院が若手医師を派遣しやすい環境が整った病院

- ・ 医療の質が保たれ、全ての診療科を揃え、臨床研修プログラムや臨床研修医の当直をサポートできる指導体制を整えた病院

臨床研修医や若手医師が、やりがいを感じる病院

- ・ 専門的な技術が学べる指導体制
- ・ 診療科の充実や指導医の確保ができる一定規模以上の病院
- ・ 頑張った人が報われる環境の整備

地域医療と医療連携

病診連携を基本とする地域完結型医療の構築

- ・ 地域医療に必要な診療科を備えた病院
- ・ 質の高い医療が提供できる知多半島医療圏北西部の中核となる病院

三次救急病院（市立半田病院など）の機能を補完する病院

- ・ 亜急性期や慢性期の患者への対応できる機能を備えた病院
- ・ 標準的ながん診療を提供できる医療機能を備えた病院

勤労者層の多い産業都市における保健衛生・医療に対応する病院

- ・ 周産期医療体制を備えた病院
- ・ 住民の予防、健診機能を備えた病院
- ・ 介護施設と連携した病院

病院経営

地域住民に信頼され、選ばれる病院

- ・ 将来にわたって健全で安定した経営
- ・ 人事、財務などにおいて弾力的な経営が可能となる経営形態の病院